

カザグルマ

Clematis patens

キンボウゲ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 II

種
子
植
物



林縁に生える落葉性多年生のつる植物。茎は木質化している。葉は小葉3～5枚の羽状複葉。属名はクレマチスで、多くの園芸品種を作りだす母種となっている。5月に径10cmほどの薄い紫色～桃色を帯びた白色又は純白の花を咲かす。県内の生育地は点在していて、個体数も少ない。林縁に生えるため植生遷移の影響を受けやすく、人里近くでは土地開発や人による採取もあって、消滅した生育地が生じ、絶滅の危険性が高くなっている。

(写真・文：辻 寛文)

県内分布 由布・鶴見火山群，別府湾沿岸域，大分川・大野川丘陵地，大野川上流域
分布域 本州，四国，九州（熊本・大分・宮崎）
朝鮮半島，中国（東北部）